

形式1 (三人称過去、他動詞)

… 原形の末尾 =  $\begin{cases} -y \text{ (直前の子音に')} \\ -y' \text{ (上記以外)} \end{cases}$  --- 変化A

形式2 (-一人称現在、他動詞)

① 原形の直前に  $\begin{cases} +r \text{ (-k, -k')} \\ +m \text{ (-p, -p')} \\ +n \text{ (上記以外)} \end{cases}$  --- 変化B

\* このとき原形の直前にあり、 $r$ が追加されない  
無声阻害音 (p, t, k) は有声化 (b, d, g)

② 二重子音の間に母音を挿入 --- 変化C

\* 挿入する母音は次の母音と同化 (例外: i → a)

③ 最後の子音に ' を追加 (元々持っている場合はこのまま)

\* このとき、有声阻害音 (b, d, g) は無声化 (p', t', k'),  
s → ts' --- 変化D

- (a) 15. innetak'a 16. ingit'ri  
17. imp'uhuru 18. inher'o

他動詞の受身 = 自動詞と同じ扱い

起こる変化の内訳 \* 変化E

自	-	三
他		
現	B, C, E	C, E, H
	B, C, D	
滑	B, E, F	F, F
	G	A

最終音節の ' を削除

末尾に -s を追加

変化F

最終音節の母音が

-C-CV- (Cは子音、Vは母音)

ならば、長音化 \* Bの前の起こる

変化G 末尾に  $\begin{cases} r \text{ (最終子音がCの場合)} \\ n \text{ (最終子音がC'の場合)} \end{cases}$  を追加

変化H 直前に a- を追加

(b) 39. 私は(それを)滑りにした 40. 私は去った

41. それが開けられた 42. sur'uy

43. pirin' 44. infawats'a

45. k'aani? 46. imp'ihana?

47. ahika? 48. inipla?

見	piri
言伝	im'a
開	apla
捕	k'ani
送信	tikni
奏	tundi
奪	saksa
焼	kisi
縫編	hik'a
学知	hini
遊	yutnu
洗	ipla
握	p'ahni
殺死	ter'o
押	netka
打	kiri
打滑	p'uhru
滑	her'o
植	sawsa
送	sur'u
去	ispa
送	siru
横	k'ata
跳	p'ihna
心	kokma